

Eco-VAS^{※1}/LCA^{※2}による環境負荷の削減

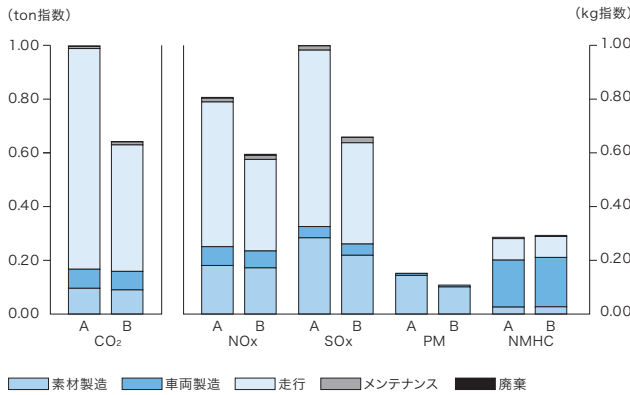
ダイハツでは2006年からEco-VASを導入し、環境負荷物質、リサイクル、LCA等の6つの環境目標を設定して開発を進めています。LCAでは素材製造から生産、走行、廃棄に至るライフサイクルすべてにおけるエネルギーの使用量や、CO₂などの環境への排出を評価し削減に努めています。



※1: Eco-VAS=Eco-Vehicle Assessment System (自動車環境総合評価システム)
 ※2: LCA=Life Cycle Assessment

LCAの実施結果

A: 従来コペン(4AT) B: 新型コペン(CVT)



■ 素材製造 ■ 車両製造 ■ 走行 ■ メンテナンス ■ 廃棄
 NMHC: 非メタン炭化水素 (Non Methane Hydrocarbons)
 PM: 粒子状物質 (Particulate Matter) SO_x: 硫黄酸化物 (Sulfur Oxide)
 NO_x: 窒素酸化物 (Nitrogen Oxide)

■ 自動車の生涯走行距離10万km(10年)を、JC08モードで走行した場合の結果です。
 ■ ダイハツではLCAにより相対的な環境メリットを確認することを目的としているため、評価結果は指数で示しています。また、CO₂はtonレベル、それ以外の項目はkgレベルで排出されますので、指数を別に示しています。

コペンの環境仕様

基礎情報		車両型式		
		3BA-LA400K		
		KBPZ/KBVZ	KMPZ/KMVZ	
エンジン	型式	KF型		
	総排気量 (cc)	658		
	使用燃料	無鉛レギュラーガソリン		
駆動装置	駆動方式	2WD		
	変速機	CVT	5MT	
環境性能情報	燃料消費率 (WLTC ^{※5})	走行燃費 ^{※3} (km/L)	19.2	18.6
		市街地モード(WLTC-L)	15.4	14.3
		郊外モード(WLTC-M)	20.4	19.9
		高速道路モード(WLTC-H)	20.6	20.3
		CO ₂ 排出量 (g/km)	121	125
		参考: 燃費基準 ^{※4} 達成	2030年度燃費基準65%達成	
排出ガス	適合規制・認定レベル	平成30年規制適合 ^{※5}		
	規制値・認定値 (g/km)	CO	1.15	
		NMHC	0.10	
		NO _x	0.05	
参考	環境対応車普及促進税制適合	-	-	
	グリーン購入法適合	-		
適合騒音規制レベル	加速走行騒音規制値: 70dB-A			
エアコン冷媒の種類 (GWP値 ^{※6}) / 使用量 (g)	HFO-1234yf (1 ^{※7}) / 290			
車室内VOC ^{※8}	自工会自主目標達成 (厚生労働省室内濃度指針値以下)			
環境負荷物質削減	鉛 *1	自工会2006年目標達成 (1996年比1/10 以下)		
	水銀 *2	自工会目標達成 (2005年1月以降使用禁止)		
	六価クロム	自工会目標達成 (2008年1月以降使用禁止)		
	カドミウム	自工会目標達成 (2007年1月以降使用禁止)		
	自工会目標適用除外部品	*1 鉛バッテリー (リサイクル回収ルートが確立されているため除外) *2 ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンピネーションメーター、ディスプレイヘッドランプ、室内蛍光灯 (交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)		
環境への取り組み	リサイクル	リサイクルし易い材料を使用した部品	インストルメントパネル、ピラーガーニッシュドアトリム、シートリクバカバーなど	
		リサイクル材の使用	エンジンアンダーカバー、ダッシュサイレンサー、リヤホイールハウスイナーなど	
		樹脂、ゴム部品への材料表示	あり	
環境負荷物質使用状況等	鉛	電子基板・電子部品のはんだ、圧電素子に使用		

※3: 国土交通省審査値。燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境 (気象、渋滞等) や運転方法 (急発進、エアコン使用等) に応じて燃料消費率は異なります。※4: 省工本法に基づき定められている燃費目標基準。
 ※5: WLTCモード走行。※6: GWP: Global Warming Potential (地球温暖化係数) ※7: フロン法において、乗用車用エアコン冷媒は、2023年度以降、環境影響度を製造者等ごとに出荷台数で加重平均した値が目標値150を上回らないことが求められております。※8: 厚生労働省2002年1月に定めた指定物質で自動車に関する物質の指針値。